

授 業 概 要

| | | | | | |
|---|-------------------|---------------------|--|----------------|--|
| 授業のタイトル (科目名) 福祉行財政と福祉計画 | | 授業の種類 (講義・演習・実習) | | 授業担当者 花内 菜由 | |
| 回数 15回 | 時間数 (単位数) 30時間 | 配当学年・時期 1年 後期 | | 必修 ・ 選択 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 戦後の経済成長に伴い発展してきた社会福祉の諸制度の変遷を学び、福祉サービスのあり方や考え方を大きく転換させた社会福祉基礎構造改革の目的と課題などを明らかにするとともに、福祉の行財、さらに福祉行財政の実際などについて学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 社会福祉の法制度の展開や福祉計画との関連、国と自治体との関係や行政の仕組み、各給付や仕組みを支える国・地方自治体別の財政の仕組み、相談過程とこれを支える専門機関や地域レベルでの相談システム、市町村を念頭においた福祉計画の意義とその技法について学習する。</p> <p>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉の財源、福祉行財政の動向、福祉計画の種類・目的・意義について説明できる。 2. 福祉行政の組織、団体と専門職の役割について説明できる。 3. 各計画における国・都道府県・市町村の位置づけや内容、住民参加のあり方を説明できる。 4. 福祉計画の実際について説明できる。 | | | | | |
| <p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉行財政と福祉計画 (福祉と制度) 2. 福祉行財政と福祉計画 (福祉の法制度の展開・福祉計画の概要) 3. 福祉行政 (行税の骨格・社会福祉と法制度) 4. 福祉行政 (福祉行政の組織・社会福祉基礎構造) 5. 福祉財政 (財政と社会福祉・一般会計予算と社会保障関係費の動向) 6. 福祉財政 (地方自治体の財政と民生費の動向・民間社会福祉事業の財源・福祉サービスの利用と費用負担) 7. 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 (社会福祉基礎構造改革・相談過程・相談体制) 8. 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 (専門諸機関・地域の相談システム・専門職倫理の概念) 9. 福祉計画の目的と意義 (福祉計画の目的・意義とは・福祉援助の現場から福祉計画へ) 10. 福祉計画の目的と意義 (計画のサイクルと福祉援助の現場) 11. 福祉計画の理論と技法 (福祉計画の基本的視点・福祉計画の過程と留意点) 12. 福祉計画の理論と技法 (福祉計画におけるニーズ把握・福祉計画における評価) 13. 福祉計画の理論と技法 (福祉計画における住民参加) 14. 福祉計画の実際 (福祉計画の事例研究の視点・老人福祉計画・介護保険事業計画) 15. 福祉計画の実際 (次世代育成支援行動計画・地域福祉計画) <p>後期末試験</p> | | | | | |
| <p>【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 「地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版 社会福祉小六法2021</p> | | | <p>【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、後期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p> | | |